

令和2年6月25日

三河歯科衛生専門学校  
校長 和田 昭 殿

## 三河歯科衛生専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会  
委員長 新實 良美



令和元年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

### 記

1. 開催日時：令和2年6月14日（日）10:00～11:10

2. 場 所：三河歯科衛生専門学校

3. 参加者：9名

#### 学校関係者評価委員

新實 良美	歯科業界関連（臨床実習指導者）蒲郡市民病院 歯科衛生士
楠本 裕枝	教育関係者 豊橋歯科衛生士専門学校 専任教員
鈴木 貴代	保護者
濱島 容子	保護者
小林 裕代	保護者
藤田 裕香	保護者

#### 学校教員

和田 昭	校長	（挨拶のみ）
前田 順子	教務部長	（趣旨説明・記録）
小池 美佳	教務主任	（進行・アドバイザー）

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（評価委員へは、自己点検評価報告書を事前に送付済）

## 5. 意見・改善点

### 1) 教育目標

- ・適切である。
- ・教育目標が周知できていてよい。今後も入学時ガイダンス・保護者会などで周知・浸透させていく。

### 2) 学校運営

- ・概ね適切である。
- ・健全な学校運営の判断材料の一つになる「職業実践専門課程」の認定を受けている。
- ・中長期計画会議・職員会議・学年会議を定期的に開催してよい。

### 3) 教育活動

- ・適切である。
- ・超高齢社会のニーズへの対応として、訪問歯科や介護老人保健施設などでの実習が充実している。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、安全を第一に考えた学校の対応はよい。
- ・臨床実習指導者と学校職員との連携をより強化し、時代のニーズに応じた実践力を学生に身につけさせる。

### 4) 学修成果

- ・概ね適切である。
- ・退学者の低減がより図られるよう、学生の学ぶモチベーションを持続させることが大切である。
- ・高校教員への職業理解向上も含め、適性がないと思われる学生にどう対応していくか課題である。

### 5) 学生支援

- ・概ね適切である。
- ・就職活動のため、求人票ファイルが地域ごとに細分化され教室に設置されるようになったことはよい。
- ・保護者会を継続することで保護者との連携をさらに深めていく。
- ・校友会（同窓会）と連携を取り、卒業生に対する卒後教育・再就職支援体制を強化する。

#### 6) 教育環境

- ・概ね適切である。
- ・実習室の歯科ユニット・レントゲン装置が、新しいもの変わった。臨床現場に即した装置・設備への変更は、有用で大いに評価できる。
- ・トイレが洋式（暖房便座）となったことはよい。

#### 7) 学生の受け入れ募集

- ・適切である。
- ・新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、工夫し体験入学に力をいれていく。
- ・HPは見やすく充実している。
- ・職業実践教育訓練給付金制度は、社会人にとって有用な制度である。社会人確保のため、どう周知していくか課題である。

#### 8) 財務

- ・概ね適切である。
- ・財務基盤を安定させるには、定員増が急務である。
- ・支出を抑えるべき工夫・改善が必要である。

#### 9) 法令等の遵守

- ・適切である。
- ・専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。
- ・「自己評価報告書」をHPで公開している。

#### 10) 社会貢献・地域貢献

- ・ほぼ適切である。
- ・学生対象の講演会を、地域公開講座としてもよい。